

日頃から大変お世話になっております。西部支所都立学校のGOOD NEWSをお届けします。
「地域連携に関すること」「観点別評価等新カリに関すること」についての事例もお待ちしております。

都立田無特別支援学校

NEWS 60 作業学習で地域貢献

(地域連携に関すること)

特別支援学校には、生徒たちが自立と社会参加に向けて「働くことの意義」や「働くために必要な知識・技能・態度・習慣」などを学ぶ「作業学習」の授業があります。本校の作業学習は「エコワーク班」「クラフト班」「食品加工班」「農園芸班」「清掃班」「喫茶・接客班」「事務補助班」の7つの作業種で構成されています。

その中で、地域の方々に本校を知っていただくために様々な取組も行っており、今回は、「事務補助班」の取組を紹介します。

事務補助班は、パソコン入力による「名刺の作成」「依頼された資料の作成」「販売活動の領収書の作成」や「印刷物の丁合」などの軽作業を行っており、仕事の多くは、本校教職員の依頼ですが、地域の事業所等の依頼にも応えています。



今年度、6月と9月に「西東京市障害者就労支援センター 一歩（いっぽ）」の職員の方から名刺作成の依頼があり、生徒は丹精込めて作成し、納品しました。

先日、そのお礼として同事業所の職員の方から「感謝状」をいただいたことで、生徒たちの働く意欲を更に高めることにつながりました。仕事を通して誰かの役に立っている、と生徒が自己肯定感をもつことができるよう、今後も地域と連携した「作業学習」に取り組んでいきます。